

立教大学応援団 南会津で夏合宿

8月23日から10泊で、立教大学応援団が南会津町で合宿を行っています。2019年につづき3年ぶり。団員らは、だいくらスキー場ホテルを拠点に町内体育館などで厳しい練習に励んでいます。応援団はリーダー部、チアリーディング部、吹奏楽部の3つの部から組織されています。

チアリーディング部は旧檜沢中体育館で練習を行いました。部員らはそれぞれに意見を述べ、タイミングや形を何度も確認していました。

吹奏楽部は、何度も何度も同じ部分を確認し合わせます。リーダー部は応援のために体力と精神力を鍛えます。今年は初めて女子が入部しました。

8月30日には御蔵入交流館で成果発表を行いました。松本団長は「合宿を通し、交流やつながりを後輩に引き継いで行くことが出来そうです」と話していました。



初めての女子部員 リーダー部



8月30日 成果発表

アロマでリラックス&さわやか

南会津町「きとね」に拠点を置き、アロマを扱う会社 一十八日(じゅうはちにち)は南会津で採れるクロモジやニオイコブシを蒸留し和精油を採り販売しています。

一十八日ではアロマを知ってほしい、和精油を採る方法や、この事業を持続させる方法をともに考えよう!と年に数回スタディツアーを実施しています。

今回は8月6日に行われました。針生地区にある蒸留所を訪れ、蒸留の様子を見学。何十キロもある木から貴重なアロマが抽出されていました。

高野地区にあるクロモジが自生する山に上り枝を切り挿し木を試みました。山の持ち主である星義道さんが講師。この方法で苗を作ることができれば、植樹を行い、木を育てながらアロマの材料を定期的に採取することができます。

限りある資源を育てながら使う。持続可能な取り組みに挑戦していました。

アロマは香りにより、リラックスしたり、目覚ましが変わりになったりもするそうです。

参加者らは最後は香りをブレンドし自分の香を作りました。体験ができるアロマウィークは9月10日から、町内およそ70か所で開催されます。



蒸留を見学



さし木を体験

駒止湿原の標高は1121m 福島県測量設計業協会が標高碑寄贈

8月10日、駒止湿原周囲の針生共有林針生駒止の森に整備されたぶなっこ遊歩道入口に標高碑が完成し除幕式が行われました。標高碑は、一般社団法人福島県測量設計業協会(会長:株式会社皆川測量 社長皆川雅文)が寄贈。寄贈をお願いしたのは、駒止湿原を中心に環境の保全活動を行う南会津町の湿原を守る会。場所は、駒止湿原南会津町側駐車場からおおよそ150mの場所で、南会津町が針生区から借り受けている湿原散策の後に通る場所です。

南会津町教育長、昭和村教育長、福島県南会津地方振興局長、南会津建設事務所長、東北電力ネットワーク田島電力センター所長らが出席。合わせておよそ35人が出席した。

寄贈をお願いした南会津町の湿原を守る会会長井英彦氏が寄贈者である、協会の皆川雅文会長に感謝状を手渡し、皆川協会長は「協会では平成22年の道の駅しもごうから現在まで県内19か所に標高碑を寄贈した。ここは1100メートル以上の高原。標高と動植物の特性の関係を実感すると共に、測量の大切さも感じてほしい。標高碑のあるぶなっこ遊歩道が森林学習の場として活用されることを期待する」とあいさつしました。

式典の後、町内に勤務するフルート演奏者稲本起子さんが、かっこうやふるさとを演奏。



皆川雅文
測量設計業協会会長



標高碑の前で
駒止湿原周囲 ぶなっこ遊歩道入口

予定

- 9月3日(土)たかつえそばウォーク
- 問合せ みなみあいづ観光TEL: 0120-915-221
- 9月3日(土) NHKのど自慢予選
- 9月4日(日) NHKのど自慢本番 放送12:15~
- 9月10日(土)~24日 アロマまつり 各事業所
- 9月24日(土) アロマまつり 10時~きとね
- 9月18日(日) 日本アルメニア文化交流コンサート
12:30開場 ワインなどの販売もあり

伊南 大桃の舞台

八月七日、伊南、大桃の舞台で地域の伝統芸能や、田島祇園祭屋台歌舞伎が上演される大桃の夢舞台が開催されました。

今回も感染症感染防止のため、大桃地区民と関係者のみが参加し行われました。



南会津高校生 早乙女おどり

